

— “感動”が人をつくる —

Culture Niigata

新潟文化情報誌
カルチャーにいがた

2023.09-11
Vol.116

NEXT STAGE

— 情熱の行方 —

声楽家(テノール歌手) 笛田 博昭

| 新潟イベント情報

| 親子で楽しもう

| シリーズ URAKATA



NEXT 情熱の行方 STAGE

これからの舞台芸術を担う、アーティストを紹介する「NEXT STAGE」
今回登場いただくのは新潟県出身の笛田博昭さん。
10月22日(日)、藝大フィルハーモニア管弦楽団魚沼公演に出演される笛田さんにこれまでの歩みと、テノール歌手としての思いを聞いた。

芸術は心の栄養
生身の人間が出す音楽を
肌で感じてほしい

声楽家 (テノール歌手)
笛田 博昭
Hiroaki Fueda

パヴァロッティの 真似から始まった歌手の道

—子どもの頃、歌手になりたいと思ったことは？

1ミリもありません(笑)。幼稚園の頃は医者になりたかった。咳がひどくてよく病院へ行っていたのですが、そこのお医者さんが優しくて憧れがあったので。その後は、父親が大工なので長男の僕が継ぐんだらうなと思っていました。乗り気ではなかったですが(笑)。ちなみに実家は湯沢町なのですが、冬は雪で大工仕事ができないのでスキー場でロッジと食堂を営んでいました。

—では、いつ頃から歌手になろうと？

小学校の合唱コンクールなどで「いい声してるね」と褒められることが多くて、僕自身も歌うのは好きでした。転機となったのは高校2年の音楽の授業で3大テノール、パヴァロッティ、ドミンゴ、カレーラスの映像を見たことです。見た目のカッコよさではドミンゴなのですが、僕が圧倒的に衝撃を受けたのはパヴァロッティ。とにかく声が素晴らしくてしびれました。それから毎日、パヴァロッティの真似ばかりしていました。

そんな僕を見て高3の時、先生が新潟日報主催の新潟音楽コンクールに出場したらどうかと勧めてくれたん

です。それで参加したところ、優秀賞を獲得。高校生で1位となりました。自己流でも結果を出せたのがうれしくて「これは才能がある、間違いない」と思い込み、専門大学への進学を真剣に考え始めました。

—それで名古屋芸術大学へ

はい。音楽の専門的な勉強は全くしてこなかったのでピアノも弾けません。名古屋芸大は唯一推薦枠があり、実技と面接だけで良かったのでここに決めました。

本格的に声楽とオペラを学び、 歌うことが楽しくなった

—実際に学び始めてどうでしたか？

とにかく歌うことが楽しくて、この世界は自分に合っているという実感がありました。先日、お亡くなりになってしまったのですが、中島基晴先生という素晴らしい師匠の指導のおかげで、気づいたら高い声を出せるようになっていました。先生には「歌う時は腹を使いなさい」「丹田を意識して歌いなさい」「歌は声ではなく響きで歌うもの」「声が広がらないように点に集めて歌いなさい」など、様々なことを教えていただきました。

—歌手で食べていくと決めたのはいつでしょうか？

大学に入った時点からもうこの道しかないという気持ちがあったと思います。当然、4年間では全然学びが足りないのでもそのまま大学院に進学しました。

—大学院を卒業されて以降、どのようにオペラ歌手として活動されるようになったのか教えてください。

大学院を修了後、名古屋芸術大学実技補助員となり、名古屋を中心に音楽活動を始めていました。ちなみに本格的にオペラデビューしたのは25歳の時。名古屋芸術大学特別講演『トゥーランドット』カラフ役でした。その前後から噂が噂を呼んだみたいで(笑)、いろいろなところから出演オファーをいただくようになりました。

後に所属することになる藤原歌劇団もいきなりご連絡をいただいたのが始まりです。28歳の頃、『ラ・ボエーム』のロドルフォのオーディションをやるので声を聴かせていただけませんか?と。ただ、自分の声がこの作品に合わないと思って最初、お断りしました。

ところがオーディションが終わった後、再び連絡が入ります。結局、決まらなかったのですがやはり僕の声を一度聴きたいと。それでオーディションを受けたら見事合格し、『ラ・ボエーム』に出演させてもらいました。その後も所属しないまま歌劇団の公演に出させてもらっていましたが、イタリア留学から帰国後、団員となりました。



イタリア留学で積み上げてきたものの正しさを確信

—30歳からイタリアへ留学されたのはなぜだったのでしょうか?

名古屋芸大の中島先生に基本を徹底的にたたきこんでもらってそれなりに実力はついてきた感じはあったのですが、「正直、こんなモンじゃない、まだまだ歌手として大きく伸びるはずだ」という思いがあった。でも、どうやったら自分の才能をより大きく開花させることができるのかわからなかった。それでイタリアへ行って勉強しようと考えたわけです。

まずは27歳の時、1カ月ほど試しにイタリアへ行ってみたのですがその時、ミラノでリナ・ヴァスタという先生に出会いました。当時でもう75歳くらいだったのですが、声が本当に少女みたいで、少し歌声を聴いただけで虜になりました。この先生だったら、絶対モヤモヤして迷っている今の状態から救ってくれる!いや、そんなことより純粋にこの先生に習いたいと強く思ってしまったんです。帰国して奨学金がいただける場所を探している間にも、何度かリナ先生を訪ねてレッスンを受けたのですが、やはり短期間では限界があったので30歳から正式に留学しました。



—リナ先生に師事して何か変わりましたか?

自分が中島先生に学び、これまでやってきた呼吸法や息のコントロールの仕方などが間違っていなかったんだと再確認できて自信を持つことができました。それが一番の収穫です。歌うことに必要な筋肉は歌うことでしか鍛えられないので、これまでやってきたことを信じ、さらに切磋琢磨していけばいいんだと改めて思いました。

目に見えない 神に届くよう歌い続ける

—テノール歌手という仕事に感じている魅力を教えてください。

今45歳で、歌を始めて25年ぐらいなのですが、ようやく“自分という楽器”を理解でき、コントロールできるようになってきたと感じ始めているところです。もちろんまだまだ足りないところは多々ありますが、これからの10年でどこまでその舵を上手に取れるようになるか、どんな歌が歌えるようになるか、今から楽しみで仕方ないです。何か一つクリアできると次の課題が見えてきてそのために最善を尽くすと、新たな課題が見えてくる……。その繰り返しで自分の実力を高めていくということをずっと死ぬまでやり続けたいです。

—オペラの舞台でも、コンサートでも歌う時に心がけていることはありますか？

崇高なものでありたいと思っているので、歌う時はいつも神様に届くようにと思って歌っています。それと、芸術は心の栄養です。特に音楽は生身の人間が奏でる音を聴いていただくことになるので、ぜひ耳だけでなく五感すべてで感じていただきたいという思いで歌っています。

—10月22日(日)、藝大フィルハーモニア管弦楽団魚沼公演にハーブの山宮るり子さんと一緒に参加されます。このステージにかける思いを聞かせてください。

一緒にする藝大フィルさんも、山宮さんも初対面なのでどんな公演になるか僕自身も予測できないだけに今からワクワクしています。故郷・湯沢からそんなに離れていない小出郷で公演できることもうれしいです。

やはり新潟での公演はみなさん温かく聴いてくださるので心強いし、格別な感慨があります。近くの方々ぜひ聴きにきてください。

Question&Answer

Q.どんな子どもでしたか？

自由奔放な子でいたずら好きでした。実家が越後湯沢のスキー場でロッジを営んでいて、カラオケが置いてあったのでよく「さざんかの宿」とか「北酒場」を歌っていました。また、外国人のお客様にも臆することなく、「遊ぼう」と自分から声をかけてコミュニケーションをとっていましたね。

Q.今、ハマっているものは？

結構アウトドア派で、ディスクゴルフをたまにやっています。

Q.一番リラックスしている時は？

あまりないですね。ボーッとしているように見えても、実は頭の中では歌のことを考えていたりするので。

Q.好きな映画や小説、絵画は？

絵は好きで時々、美術館に行きます。初めてレオナルド・ダヴィンチの「最後の晩餐」を観た時の感動は忘れられないです。他にはフェルメールの絵も好きですし、岡本太郎の絵もすごくエネルギーが感じられて大好きです。

Q.新潟で好きな場所は？

やはり生まれ育った湯沢です。雄大な自然があって、温泉があります。今でも家族を連れて時々帰るのですが、やはりホッとします。



〈Profile〉

ふえだ ひろあき

笛田 博昭

名古屋芸術大学音楽学部声楽科首席卒業。同大学院修了。第37回イタリア声楽コンクール・イタリア大使杯受賞。第50回日伊声楽コンクール第1位。第20回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。2012年フェッラーラ国際コンクール第1位、その際に

フェッラーラ歌劇場にて『イル・トロヴァトーレ』マンリーコ役でイタリアデビューを果たす。イタリアの輝きをもつ豊かでドラマティックな声と、日本人離れたスタイリッシュな歌唱フォームは比類なく、日本屈指のプリモテノールとしての地位は揺るぎない。2023年5月には三河市民オペラ公演、ジョルダノ作曲《アンドレア・シェニエ》でタイトルロールを歌い、磨き抜かれた圧倒的な歌唱が記憶に新しい。パレルモ・マッシモ歌劇場の引越し公演では、急遽代役として《ラ・ボエーム》のロドルフォで出演し、大喝采を浴びた。2017年よりNHKニューイヤーパーオコンサートに出演。藤原歌劇団団員。新潟県湯沢町特別観光大使。2024年1月には藤原歌劇団公演『ファウスト』にてタイトルロールで出演予定。

公演情報

10/22日 14:00

魚沼市小出郷文化会館

藝大フィルハーモニア管弦楽団 魚沼公演

県主催



梅田俊明

©K.Miura



笛田博昭



山宮るり子

新潟県出身のテノール歌手・笛田博昭と、ハーブ・山宮るり子による藝大フィルとの豪華共演!

出演:梅田俊明(指揮)、笛田博昭(テノール)、山宮るり子(ハーブ)、藝大フィルハーモニア管弦楽団(管弦楽)

曲目:ヘンデル/ハーブ協奏曲 変ロ長調 op.4 no.6, HWV 294, ドニゼッティ/歌劇「ファボリータ」より「優しい魂よ」、マスネ/歌劇「ヴェルテル」より「春風よ、なぜ私を目覚めさせるのか」、ヴェルティ/歌劇「運命の力」より「天使のようなレオノーラ」、ベートーヴェン/交響曲第3番 変ホ長調「英雄」op.55

¥ 全席指定 S席5,000円 A席3,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください

魚沼市小出郷文化会館 Tel.025-792-8811

【主催】新潟県、魚沼市小出郷文化会館(指定管理:NPO法人魚沼交流ネットワーク)、令和5年度舞台芸術を活用した県民参加・体験拡大プロジェクト実行委員会

EVENT

新潟イベント情報

県内で行われる様々な催物情報をお届けします。
会場に足を踏み入ると、そこは別世界。是非、体感してみてください。

- コンサート
- ミュージカル・演劇・舞踊
- 古典・伝統
- 美術展
- その他イベント
- 県主催
- 県民文化活動推進事業
- 保育ルーム (託児あり)

※未就学児は入場不可の場合があります。☺の公演には託児室を設置します。(要予約)
※8月上旬の情報です。詳細については、各問合せ先へご確認ください。
※**県主催**公演は、令和5年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業を活用しています。(音楽劇「精霊の守り人」・劇団四季ミュージカル「クレイジー・フォー・ユー」は除く)

ホームページ「新潟文化物語」にも各種催物情報を掲載しています。掲載をご希望の方はホームページ上から登録をお願いします。

新潟文化物語 🔍

「新潟イベント情報」への掲載をご希望の方は、下記までご連絡ください。次号vol.117は、11月25日発行予定です。10/2(月)までに、12月～2月上旬の催物情報をお寄せください。

新潟県文化課「カルチャーにいがた」係

Tel 025-280-5139 **メール** ngt150030@pref.niigata.lg.jp

9/2 **土** 14:00

ラポルテ五泉

笛田博昭 テノールコンサート

世界を舞台に活躍中、国内外から高い評価を得ている、日本トップのテノール歌手。誰もが魂を揺さぶられる圧巻のステージは必見です。パワーあふれる豊かで高らかな歌声を間近でご堪能ください。



笛田博昭(ふえだのひろあき)

出演: 笛田博昭(テノール)、斎藤和音(ピアノ)
曲目: 歌劇「トゥーランドット」より「誰も寝てはならぬ」他

¥ **【全席指定】**一般:3,000円(当日500円増) 高校生以下:2,500円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

📞 **五泉市生涯学習課 Tel.0250-42-5195**

【主催】五泉市教育委員会

9/3 **日** 14:00

新潟県民会館 大ホール

日生劇場ファミリーフェスティバル 2023 音楽劇『精霊の守り人』新潟公演

県主催

世界中で愛されている日本発の冒険ファンタジー。国際アンデルセン賞作家賞をはじめ、数々の文学賞に輝くファンタジー文学の旗手・上橋菜穂子の代表作『精霊の守り人』が初の舞台化!幼いチャグム皇子と女用心棒バルサが繰り広げる冒険ファンタジーを音楽劇で楽しめます。



出演: 梅田彩佳、渡部秀、水石亜飛夢、小野塚勇人(劇団EXILE)、健人、唐橋充、黒川想矢、雛形あさこ、山崎樹範 ほか

¥ **【全席指定】**5席:6,000円 A席:4,000円 B席:2,000円
※3歳未満の入場はご遠慮ください。

📞 **新潟県民会館 Tel.025-228-4481 新潟県文化課 Tel.025-280-5139**

【主催】新潟県、令和5年度舞台芸術を活用した県民参加・体験拡大プロジェクト実行委員会、(公財)新潟市芸術文化振興財団、(公財)ニッセイ文化振興財団【日生劇場】

9/9 **土** 14:00

小千谷市民会館

県主催 小千谷市民会館 開館50周年記念事業 はじめての落語

「落語のイロハ」や「寄席囃子」など、落語がさらに面白くなる講座付き公演。



林家たい平

出演: 林家たい平、林家はな平、春風亭一花、三遊亭二之吉、稲葉千秋(お囃子)

¥ **【全席指定】**一般:2,000円 中学生以下:500円(当日各500円増)
※5歳未満の入場はご遠慮ください。

📞 **小千谷市民会館 Tel.0258-82-9111**

【主催】新潟県、小千谷市、令和5年度舞台芸術を活用した県民参加・体験拡大プロジェクト実行委員会

9/9 **土** 18:30

長岡市リリックホール
コンサートホール

ジェットストリームの世界 37th BLUE NOTE JAZZ ORCHESTRA Concert

長岡を拠点に1972年より活動開始のアマチュアビッグバンド、BLUE NOTE JAZZ ORCHESTRA。今年は、懐かしの番組「ジェットストリーム」の世界を皆様にプレゼント。



36回コンサートステージ

¥ **【全席自由】**一般:1,000円(当日200円増) 中学生以下:無料

📞 **Jazz Café 音食 Tel.0258-36-7655 (15:00~)**

【主催】BLUE NOTE JAZZ ORCHESTRA

9/10日 14:00 新潟市北区文化会館 ホール

北区うたの祭典2023 県主催

少年少女合唱団の明るい歌声と、大人の合唱団の豊かな歌声がホールいっぱいに響く1日。誰もが知っている楽しい歌を元気にお届けします！



2022年「北区うたの祭典」より

出演：北区少年少女合唱団(指揮：西谷純代、ピアノ：坂井加納)、北区うたの祭典合唱団(指揮：北住順子、ピアノ：山井満樹)
曲目(予定)：「大空と大地の中で」、「地球星歌～笑顔のために～」、「水鏡」ほか

¥【全席自由】一般：1,000円 4歳～高校生：500円
※4歳未満の入場はご遠慮ください。

新潟市北区文化会館 Tel.025-388-6900

【主催】新潟県、新潟市北区文化会館、令和5年度舞台芸術を活用した県民参加・体験拡大プロジェクト実行委員会

9/16土 14:00・10/1日 14:00

りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 スタジオA

高田まちかど交流館ホール

歌曲の苑 vol.2 “合唱”から花ひらく歌曲の数々

上越と新潟と合唱にゆかりがある出演者が集い、合唱と関わりの深い歌曲を集めて行われるコンサートです。独唱、重唱をはじめピアノソロもあります。



佐藤 健

出演：[9/16]佐藤匠(バリトン)、ゲスト：田辺千枝子(ソプラノ)、梅津幹子(ピアノ)
[10/1]佐藤匠(バリトン)、ゲスト：中森千春(メゾソプラノ)、丸田美美子(ピアノ)
曲目：木下牧子/夢みたものは、山田耕筰/待ちぼうけ、信長貴富/祈ってもいいだろうか 他

¥【全席自由】2,000円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

歌曲の集(事務局) Tel.070-5070-8827
メール：tek_310@icloud.com

【主催】歌曲の集

9/23土祝・9/24日

胎内市産業文化会館 13:30

湯沢町公民館 14:00

鼓童交流公演2023 県主催

太鼓の魅力が五感で感じられる舞台。太鼓体験コーナーや楽しいトークが人気。



出演：鶴見龍馬、小平一誠、平田裕貴、渡辺ちひろ、定成啓、廣奇一馬、小川蓮菜

¥【全席自由】一般：2,000円 中学生以下：500円(当日各500円増)
※5歳未満の入場はご遠慮ください。

胎内市産業文化会館 Tel.0254-43-6400
湯沢町公民館 Tel.025-784-2460

【主催】新潟県、胎内市教育委員会(胎内公演のみ)、湯沢町教育委員会(湯沢公演のみ)、令和5年度舞台芸術を活用した県民参加・体験拡大プロジェクト実行委員会

9/24日 17:00 長岡市立劇場 大ホール

長岡市立劇場開館50周年記念 挟間美帆 m_unit 日本ツアー2023

「世界が尊敬する日本人100」に選出され、2020年グラミー賞にノミネートされたジャズ作曲家の挟間美帆が自身の室内楽団「m_unit」を率いてお贈りするジャズライブ。デビュー10周年とニューアルバム「ビヨンド・オービット」の発売を記念し、これまでと未来を同時に楽しめるプログラムに乞うご期待！



挟間美帆

©Dave Stapleton

¥【全席指定】一般S席：5,000円 A席：3,000円
25歳以下S席：2,000円 A席：1,500円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

(公財)長岡市芸術文化振興財団 Tel.0258-29-7715

【主催】(公財)長岡市芸術文化振興財団

9/24日 17:30 国指定重要文化財 目黒邸

～室内楽の調べ～ うおぬまマイオータムコンサート2023 県民文化活動推進事業

2000年から継続し23年目を迎える「うおぬまマイオータムコンサート」。今年は4年ぶりに会場を国指定重要文化財【目黒邸】に移して開催。「豪農の館」にてステキな音楽と共に秋のひとときをお過ごしください！



出演：河村典子(ヴァイオリン)、白土文雄(コントラバス)、志田梨花子(電子ピアノ・魚沼市在住)、上村恭子(ソプラノ・笹舟混声合唱団)、小玉由紀子(昔語り・魚沼昔ばなしの会)
曲目：ヴィヴァルディ/「四季」より「秋」「冬」、前田智子/「運定の昔(水の命)」他

●音楽好きのためのワークショップ
9/25(月)9:00-15:00(1枠60~90分)、魚沼市広神公民館(コミュニティセンター)3階講堂

¥ 一般：2,500円(当日500円増) 高校生以下：無料
※200人限定

志田梨花子 Tel.090-2023-8325

【主催】うおぬまマイオータムコンサート2023実行委員会

10/1日 12:10 三上市体育文化会館 マルチホール

伝統芸能 「文化の祭典」 県民文化活動推進事業

新潟県内の伝統芸能団体が垣根を越えて、出演者及び市民などが一体となって、日本古来からの素晴らしい伝統芸能の舞台「文化の祭典」を開催します。



佐藤のさゆり

出演：佐藤ひらりの国歌独唱、鍛冶職人の心意気 三條太鼓三小相承会、華道吟、岡村心蒼(吟詠)、鎌田薫水(剣詩舞)、迫翔豪(剣詩舞)、鷲津龍蒼(一人芝居)、岡田純明(尺八)、尼崎弘子(琴)

¥【全席自由】1,500円

伝承匠の会 事務局(古澤) Tel.0256-82-3375

【主催】伝承匠の会

【プレ公演】 10/9 12:00 祝
【本公演】 11/23 14:00 祝

見附市文化ホール アルカディア

アルカディア ピアノコンサート
～わたしの街のピアニスト～

ピアノを学んでいるアマチュアピアニストが出演するコンサート。当館が提携するプロの演奏家との共演、指揮を受ける機会を提供し、演奏技術の向上を図り、その成果を発表します。



各公演【全席自由】500円
5歳～小学生：入場無料(要整理券)
※5歳未満の入場はご遠慮ください。

見附市文化ホール アルカディア
Tel.0258-63-5321

出演：【プレ公演】船橋洋介(指揮者)、三船優子(ピアノ)、佐々木友子(ヴァイオリン)、片野大介(チェロ)、公開レッスン受講者5名
【本公演】三船優子(ピアノ)、アマチュアピアニスト20名

【主催】新潟県、見附市文化ホール アルカディア、アルカディアピアノコンサート実行委員会、令和5年度舞台芸術を活用した県民参加・体験拡大プロジェクト実行委員会

10/15 日 13:30

リゅうとびあ 能楽堂

伝統を継ぐ2023
和楽器と舞で奏でる古典文学の世界
～古事記／源氏物語／羽衣伝説より～

古事記、源氏物語、羽衣伝説等を題材とした作品を、箏・尺八・笛・鳴り物・和太鼓・ソプラノで奏で、小島千絵子が華麗に舞います。どうぞ期待ください。

出演：小島千絵子(鼓童名誉団員：舞・太鼓)、高橋理香(箏・地歌三絃)、木村俊介(笛・三味線)、西野貴人(和太鼓)、中村仁樹(尺八) ゲスト：いまいあい(ソプラノ)



【全席自由】
一般：5,000円 高校・大学生：2,000円
小・中学生：1,000円(当日は各500円増し)
※未就学児の入場はご遠慮ください

J-コンチェルト Tel.090-9425-8824

【主催】J-コンチェルト

10/15 日 14:00

妙高市文化ホール

第42回 新井吹奏楽団
定期演奏会

県民文化活動推進事業

創団45周年の今年の定期演奏会は大作「モンタニャールの詩」を新井吹奏楽団の総力を挙げてお届けします。また2部では広く地域の方々にお声かけした「一緒に吹こう」特別企画にてマードックを熱演します。



出演：金井信之(指揮 ※元・大阪フィルハーモニー交響楽団クラリネットトップ奏者)
曲目：交響詩「モンタニャールの詩」、マードックからの最後の手紙、スピリテッド・アウェイ(千と千尋の神隠し)より、バイレーツ オブ カリビアン、スーパーマリオブラザーズ 他

【全席自由】
一般：1000円 学生：500円(当日各200円増) 未就学児：無料

新井吹奏楽団事務局 メール arai_sui@yahoo.co.jp

【主催】新井吹奏楽団

10/20 金 19:00

関川村民会館 大ホール

マイタウン・コンサート2023 in 関川

県主催

5人とは思えない迫力で、子どもから大人まで気軽に楽しめるアットホームな演奏会。皆さんご存じの曲を盛りだくさんでお届けします!!



出演：The Millet Mills Brass Ensemble
藤井裕子(トランペット)、外山裕介(ユーフォニアム)、家中勉(チューバ)、新保幹夫(ドラム)、竹川由紀乃(ピアノ)
曲目：L.アリマ/Sing,Sing,Sing、外山裕介/Hard Rock" Soh-ran"、H.C.ワーク：G.ドーティ/"大きな古時計"変奏曲 他

【全席自由】
入場無料(要入場整理券)

関川村教育委員会
Tel.0254-64-1491

【主催】新潟県、関川村教育委員会

10/22 日 ①12:30 ②16:30

新潟市北区文化会館 ホール

市民劇
「もういちど会いたい～星空の約束～」

県主催

福島湾に残る妖怪伝説をもとに市民劇を作成。幼い頃、母を亡くした美咲は大人になり福島湾の自然を守る活動をしている。そんな美咲の前に湾に棲む妖怪が現れ…妖怪と人間達が笑いあり涙ありのお芝居をお届けします。



原作・脚本：樋口克輔
演出：斉木としや

【全席指定】一般：1,000円 4歳～高校生：500円
※4歳未満の入場はご遠慮ください。

新潟市北区文化会館 Tel.025-388-6900

【主催】新潟県、新潟市北区文化会館、令和5年度舞台芸術を活用した県民参加・体験拡大プロジェクト実行委員会

10/28 土 13:00 · 29 日 9:30

木地屋民俗資料館

糸魚川市ふれあいセンター
ビーチホールまがたま

～日本の中の木地屋…その実像を探る～
木地屋シンポジウム
in いといがわ

県民文化活動推進事業

古来、山々を転々と移住しながら独自の技術で榎木地等を製作し、日本の食文化の一端を担ってきた職業集団・木地屋。県内では唯一、木地屋集落のある糸魚川の地で、その歴史と民俗に関するシンポジウムを開催します。

●10/28 木地屋民俗資料館見学会(先着40名)
●10/29 シンポジウム

【基調報告】菊池健策(東京文化財研究所客員研究員)、金井晃(東北地方木地師学研究会代表)、小椋正清(滋賀県東近江市市長)、小椋裕樹(糸魚川市木地屋民俗資料館館長)
【パネルディスカッション】須藤護(龍谷大学名誉教授)、筒井正(滋賀県東近江市市長)、木村裕樹(立命館大学准教授)、金井晃、小椋裕樹、伊野義博(コーディネーター：新潟大学名誉教授)



【全席自由】
入場無料(要事前申込) 木地屋シンポジウム実行委員会事務局
(糸魚川市教育委員会文化振興課内) Tel.025-552-1511(代表)

【主催】木地屋シンポジウム実行委員会

11/4(土) 18:30 新潟市音楽文化会館

新潟セントラルフィルハーモニー管弦楽団第11回演奏会

県民文化活動推進事業

ドイツ・オーストリアの音楽～古典派からロマン派への変遷～

新潟県出身の演奏家により編成された新潟セントラルフィルハーモニー管弦楽団の第11回目となる演奏会です。ロマン派ドイツ・オーストリア音楽が中心のプログラムに、軽やかなトランペット協奏曲を加えてお送りいたします。



渡部遥

出演：新潟セントラルフィルハーモニー管弦楽団、渡部遥(トランペット)、磯部省吾(指揮)
 曲目：ワーグナー/ジークフリート牧歌、ハイドン/トランペット協奏曲、メンデルスゾーン/交響曲第3番「スコットランド」

【全席自由】一般：3,000円 中学生以下：1,500円(当日各500円増)
 ※未就学児の入場はご遠慮ください

新潟セントラルフィルハーモニー管弦楽団(石丸)
 Tel.090-4135-5229

【主催】新潟セントラルフィルハーモニー管弦楽団

11/4(土) 17:00 柏崎市文化会館アルフォーレ

クリスチャン・ツィメルマン
 ピアノ・リサイタル

18歳で「ショパン国際ピアノコンクール」で優勝。2022年には第33回高松宮殿下記念世界文化賞音楽部門を受賞した現代最高と評される世界的ピアニストによる極上の音色をお楽しみください。



クリスチャン・ツィメルマン
 ©Bartek Barczyk

出演：クリスチャン・ツィメルマン(ピアノ)

【全席指定】一般S席：7,000円 A席：5,500円 U25(25歳以下)：3,500円
 ※未就学児の入場はご遠慮ください

柏崎市文化会館アルフォーレ Tel.0257-21-0010

【主催】柏崎市文化会館アルフォーレ

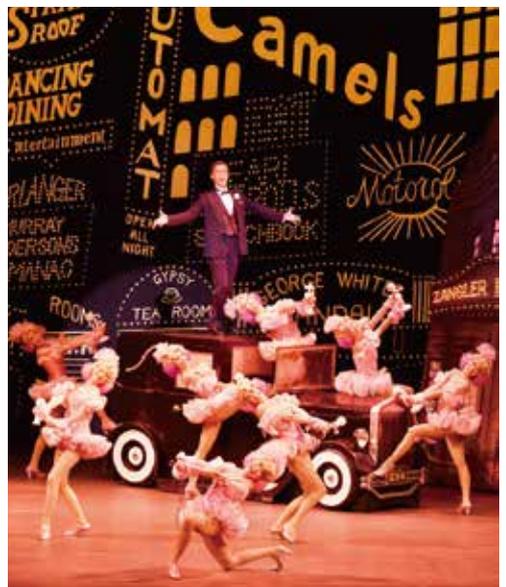
劇団四季ミュージカル『クレイジー・フォー・ユー』

観るだけで、幸せになれる。これぞミュージカル・コメディの決定版！
 珠玉のガーシュウィン・ナンバー、心地よいタップをはじめ多彩なダンス、そして笑いあふれるラブ・コメディと、まさにミュージカルの真髄ともいえる魅力満載の『クレイジー・フォー・ユー』。底抜けに明るく、観るだけで幸せ気分を満たされる舞台が、熱烈なラブコールに応じて8年ぶりに帰ってきます！

11/17(金) 18:30・18(土) 13:00

新潟県民会館 大ホール 発売日▶9/28(木)

【全席指定】S席：10,000円 A席：8,000円 B席：5,000円
 新潟県民会館 Tel.025-228-4481
 ※3歳未満の入場はご遠慮ください。 【主催】(公財)新潟市芸術文化振興財団、新潟日報社、BSN新潟放送、劇団四季



©荒井 健

11/19(日) 18:00 県主催

【全席指定】S席：10,000円 A席：8,000円 B席：5,000円 C席：3,000円
 上越文化会館 大ホール 発売日▶9/30(土)
 上越文化会館 Tel.025-522-8800
 ※3歳未満の入場はご遠慮ください。

【主催】新潟県、上越文化会館、令和5年度舞台芸術を活用した県民参加・体験拡大プロジェクト実行委員会

11/26(日) 14:00 上越文化会館 大ホール

小川未明フェスティバル2023 県主催
 「月とあざらし」

上越市の偉人・童話作家 小川未明を顕彰することを目的とし開催。未明作品「月とあざらし」をテーマに、読書感想文の発表・朗読劇・合唱・創作フラメンコなど多彩なプログラムを通して未明の世界に触れる。



出演：フラメンコ舞踊団ARTE Y SOLERA 他



【全席自由】一般：1,000円 中学生以下：500円
 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

上越文化会館 Tel.025-522-8800

【主催】新潟県、上越文化会館、令和5年度舞台芸術を活用した県民参加・体験拡大プロジェクト実行委員会

11/29(水) 19:00 魚沼市小出郷文化会館 小ホール

活弁シネマ 県主催

活弁士坂本頼光による活弁シネマ! 天宮遥のピアノ演奏で迫力ある活弁をご堪能ください。南魚沼市出身初女性脚本家の水島あやめ脚色の「明け行く空」とコメディ作品「子宝騒動」の二本立て!



坂本頼光

天宮遥

【全席自由】一般：1,500円 高校生以下：800円
 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

魚沼市小出郷文化会館
 Tel.025-792-8811

【主催】新潟県、魚沼市小出郷文化会館、令和5年度舞台芸術を活用した県民参加・体験拡大プロジェクト実行委員会

9/9^土…10/15^日

新潟県立歴史博物館 9:30～17:00 (券売は16:30まで)月曜休館(祝日の場合、その翌日)

令和5年度山の洲(くに)文化財交流展
発掘が語る地域交流
-フォッサマグナがつなぐ
新潟、長野、山梨、静岡-



ヒスイ大珠(緒締形、燈籠形)/当館蔵

関連イベント

- 記念講演会「縄文時代の地域交流」
講師：水ノ江和同氏(同志社大学教授)
9/24(日)、講堂、聴講無料、要申込
- 関連講座「新潟県の石 ヒスイ」
講師：橋詰潤(新潟県立歴史博物館研究員)
9/16(土)、研修室、聴講無料、要申込
- 関連講座「土偶の鑑賞」
講師：宮尾亨(新潟県立歴史博物館研究員)
9/30(土)、研修室、聴講無料、要申込

¥ 一般:520円
高校・大学生:200円 中学生以下:無料

新潟県立歴史博物館
Tel.0258-47-6130

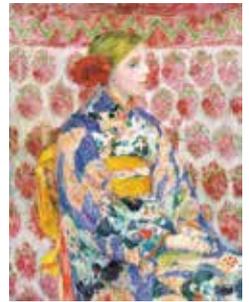
【主催】静岡県、山梨県、長野県、新潟県

9/16^土…11/12^日

新潟県立近代美術館 9:00～17:00 (券売は16:30まで)月曜休館(祝日の場合、その翌日)

ベルギーと日本—光をえがき、命をかたどる

戦前ベルギーに留学した画家の太田喜二郎、児島虎次郎、新潟県出身の彫刻家・武石弘三郎。彼らが日本へもたらしたベルギー美術とその影響、また当時の資料などから、戦前の日本におけるベルギー美術受容を探ります。



児島虎次郎
《和服を着たベルギーの少女》1910年
油彩・キャンバス 高梁市成羽美術館蔵

関連イベント

- リレートーク「つながる!太田君と児島君と武石君」
講師：山田真規子氏(目黒区美術館学芸員)、碓京子氏(高梁市成羽美術館学芸員)、伊澤朋美(新潟県立近代美術館学芸員)
9/16(土)14:00～15:30、講堂、聴講無料、申込不要、定員165名(先着順)

¥ 一般:1,200円 高校・大学生:1,000円
中学生以下:無料

新潟県立近代美術館
Tel.0258-28-4111

【主催】ベルギーと日本展実行委員会、新潟県立近代美術館 【共催】新潟日報社

9/24^日まで 10:00～18:00 (券売は17:30まで)8/28、9/11休館

新潟県立万代島美術館

ヨシタケシンスケ展かもしれない

絵本作家としてのデビュー作『りんごかもしれない』以降、幅広い世代をひきつけているヨシタケシンスケ。初の大規模個展となる本展では、発想の源である小さなスケッチや絵本原画、愛蔵のコレクションなど400点以上でヨシタケさんの「頭のなか」をのぞいてみます。



「ヨシタケシンスケ展かもしれない」のイメージ
©Shinsuke Yoshitake

¥ 一般:1,400円
高校・大学生:1,100円
中学生以下:無料

新潟県立万代島美術館 Tel.025-290-6655

【主催】新潟県立万代島美術館、UX新潟テレビ21、ヨシタケシンスケ展新潟実行委員会、朝日新聞社、白泉社

前期 8/27^土まで 後期 8/29^火→9/24^日

新潟市美術館 9:30～18:00 (券売は17:30まで)月曜休館(祝日の場合はその翌日)ただし8/14は開館

「前衛」写真の精神:なんでもないものの変容

瀧口修造・阿部展也・大辻清司・牛腸茂雄

美術評論家の瀧口修造、絵画と写真の分野で活躍した阿部展也(五泉市出身)、写真家の大辻清司、牛腸茂雄(加茂市出身)。4人の交流と創作をたどって、1930～80年代の「前衛」写真史の一片をご紹介します。



牛腸茂雄《SELF AND OTHERS 42》
1977年(2023年プリント) 個人蔵

関連イベント

- 美術講座「ぎりぎりのところの写真」を考える
牛腸茂雄が捉えたもの
講師：児矢野あゆみ(新潟市美術館学芸員)
9/9(土)14:00～15:30、講堂、聴講無料、申込不要、定員80名(先着順)
- 講演会「大辻アーカイブでたどる瀧口修造、阿部展也、牛腸茂雄」
講師：大日方欣一氏(写真/映像研究、九州産業大学芸術学部教授)
9/16(土)14:00～15:30、講堂、聴講無料、申込不要、定員80名(先着順)

¥ 一般:1,000円
高校・大学生:800円
中学生以下:無料

新潟市美術館
Tel.025-223-1622

【主催】新潟市美術館

9/9^土…11/5^日

新潟市新津美術館 10:00～17:00 (券売は16:30まで)月曜休館(祝日の場合、その翌日)ただし9/25、10/23は開館

ブラチスラバ世界絵本原画展

絵本でひらくアジアの扉

ブラチスラバ世界絵本原画展は、2年ごとに行われる世界最大規模の絵本原画コンクールです。本展では第28回展に参加した日本と韓国の計29名の作家たちによる原画を展示し、両国の絵本の現在を紹介します。



あべ弘士《うみどりの島》2019年

関連イベント

- 講演会「韓国絵本の歴史と魅力」
9/17(日)13:30～15:00
- ギャラリートーク
9/23(土・祝)、10/22(日)14:00～14:30
- UXアナウンサーによる絵本の読み聞かせ
10/1(日)11:00～11:30、13:30～14:00

¥ 一般:1,000円
高校・大学生:800円 中学生以下:無料

新潟市新津美術館
Tel.0250-25-1300

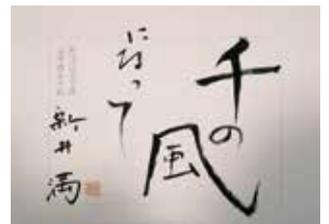
【主催】新潟市新津美術館、UX新潟テレビ21、朝日新聞社

11/5^日まで 10:00～17:00 (券売は16:30まで)月曜休館、ただし9/18、10/9は開館

にいがた文化の記憶館

伝え続けた想い 新井満回顧展

新井満(1946～2021年・新潟市)が多様な活動をとらして伝え続けた想いとは。大ヒット曲「千の風になって」関連資料を中心に紹介します。



新井満直筆原稿「千の風になって」
(七版可蔵)

関連イベント

- トークイベント「千の風の誕生秘話」
出演：新井紀子氏(新井満氏夫人)、川上耕氏(弁護士)、佐藤和正氏(フリージャーナリスト)
司会：竹石松次氏(BSNメディアホールディングス特別顧問)
9/29(金)14:00～15:30、日報ホール、参加費500円、要申込

¥ 一般:500円 高校・大学生:300円 中学生以下:無料

にいがた文化の記憶館 Tel.025-250-7171

【主催】にいがた文化の記憶館、新潟県、新潟日報社



「こどもとワクワク・ドキドキを!!」 親子で楽しむ

9/2(土) → 10/22(日) 池田記念美術館
9:00～17:00 (券売は16:30まで) 水曜休館

価値観と分断をしなやかに超えて

第7回 八色の森の美術展 + 子ども絵画展 県民文化活動推進事業

全国各地で活躍する現代美術の作家36人が参加し、地元の子どもたちが出前授業で制作した作品と共同展示。関連イベントのほか、美術作品を媒介にした哲学対話教室を実施するなど、7回目を迎えます。毎回、記録集を刊行します。

¥ 一般:500円 高校生以下:無料

☎ 池田記念美術館 Tel.025-780-4080

【主催】(公財)池田記念スポーツ文化財団、八色の森の美術展実行委員会

関連イベント

- 出品作家による作品解説会
9/2(土) 10:00～12:00
- ダンスパフォーマンス
演者: 桜井陽 9/2(土) 14:00～14:30
- 基調講演「紐の迷宮」
講師: 谷川暉(美学者・美術評論家) 9/2(土) 15:00～16:30
- 文化講座「美術館と現代美術と展覧会」
講師: 南雄介(前愛知県美術館館長) 10/22(日) 11:00～12:30
- 車座シンポジウム「アートの拡がり」とこたわり」
参加者: 出品作家 10/22(日) 13:30～15:30



美術展ポスター



9/23(土) 祝 新潟市音楽文化会館
10:30

ムジックプラッツvol.7 音で描く秋のスケッチ

小さなお子さまから大人の方まで楽しんでいただけるコンサート。秋を感じられたり、癒されたりする名曲の数々をピアノソロや連弾でお届けします。

曲目: ドビュッシー/亜麻色の髪の乙女、シューマン/トロイメライ、赤とんぼ、紅葉、どんぐりころころ 他

¥ 大人:800円 園児～中学生:300円 未就園児:無料

☎ ムジカントの森
メール: niigata.musikplatz@gmail.com Tel.090-3962-8231(13:00～18:00)

【主催】ムジカントの森



劇団四季ファミリーミュージカル 県主催

『エルコスの祈り』

心を閉ざした子どもたちのもとにやってきた、“心”を持つロボット、エルコス。一人ひとりの個性を見出すエルコスに触れて、子どもたちは次第に心を開いてゆき、「思いやりの心」「許す心」の尊さを観る人に思い出させてくれます。

10/21(土) 糸魚川市民会館 大ホール
14:00 発売日▶8/26(土)

¥ 【全席指定】SS席:6,000円 S席:4,000円 S席高校生以下:2,500円
☎ 糸魚川市民会館 Tel.025-552-5900

※3歳未満の入場はご遠慮ください。

11/5(日) 魚沼市小出郷文化会館 大ホール
14:00 発売日▶9/2(土)

¥ 【全席指定】SS席:6,000円 S席:4,000円 S席高校生以下:2,500円
☎ 魚沼市小出郷文化会館 Tel.025-792-8811

※3歳未満の入場はご遠慮ください。



撮影:阿部 章仁

【主催】新潟県、糸魚川市(糸魚川公演のみ)、魚沼市小出郷文化会館(指定管理:NPO法人魚沼交流ネットワーク)(魚沼公演のみ) 令和5年度舞台芸術を活用した県民参加・体験拡大プロジェクト実行委員会



新潟県文化祭 2023

子ども文化芸術体験

ステージ



11月3日(祝)

上越文化会館
大ホール

上越市新光町1丁目9番10号

第1部

開場/10:15
開演/11:00~12:00(予定)
《推奨年齢》小学生以上

第2部

開場/13:15
開演/14:00~15:00(予定)
《推奨年齢》中学生以上
(未就学児 入場不可)



新潟シンフォニエッタTOKI

弦楽アンサンブル

出演者プロフィール

2023年設立の一般社団法人 新潟クラシック音楽協会は、本年20周年を迎える「TOKI弦楽四重奏団」の演奏に加えて、規模・質両面からクラシック音楽の更なる充実を目指すため、「TOKI弦楽四重奏団」メンバーを母体とし、新潟出身の方や、在住、ゆかりのある仲間らで編成する弦楽アンサンブル「新潟シンフォニエッタTOKI」を新たに編成。迫力あるハイレベルで個性的なコンサートを開催するほか、若手演奏家の育成、学校などでの音楽鑑賞会開催などによる学校訪問等教育にも積極的に参加します。

プログラム(予定)

- 弦楽ソナタ第1番 第一楽章/ロッシーニ
- トリツチトラッチポルカ/シュトラウス
- 主よ人の望みの喜びよ(ショートヴァージョン)/バッハ
- 口笛吹きと犬(ピッコロとチューバ)/アーサー・プライヤー
- 動物の謝肉祭より 象(コントラバスとチューバの聴き比べ)/サン＝サーンス
- スカラムーシュ よりブラジルア/ミヨー ● ボレロ/ラヴェル
- ホーダウン/コーブランド ● リバーダンス/ビル・ウィーラン

*都合により変更する場合がございます。

親子で、いっぱい音楽にふれよう!



第1部

開場/10:15
開演/11:00~12:00(予定)
《推奨年齢》3歳以上

第2部

開場/13:15
開演/14:00~15:00(予定)
《推奨年齢》小学校高学年以上



太鼓芸能集団 鼓童

和太鼓

出演者プロフィール

新潟県佐渡島を拠点に、太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能に無限の可能性を見出し、現代への再創造を試みる集団。1981年、ベルリン芸術祭でデビュー。劇場公演のほか、小中高生との交流を目的とした「交流学校公演」、ワールドミュージック・クラシック・ジャズ・ロック・ダンスパフォーマンスなど異なるジャンルの優れたアーティストとの共演や、世界の主要な国際芸術祭、映画音楽等へ多数参加。地元佐渡島で続ける「アース・セレブレーション」など、地域における鼓童の創造的な活動やライフスタイルとその理念は、世界のアーティストや芸術関係者からも注目を集めています。

ステージテーマ

柔らかな心と
身体(からだ)で感じる鼓童の響き

楽しい、嬉しい、明日も頑張ろう!
子どもおとなも、太鼓の音はその場にいる
みんなの心をひとつにします。
一緒に鼓童の音を体感してください。

文化芸術に触れる機会を

未来を担う若い世代に

各会場ともに
入場無料/自由席

観覧募集は
9月14日(木)から開始予定。

◎詳細はコチラから
新潟県文化祭2023 検索
<https://n-story.jp/bunkasai/>



《公式サイト》



新潟ステージチャンネルで配信中!
本年度分も後日配信予定。

今すぐチャンネル登録を! ▶▶▶

「新潟の文化」動画で配信中!



たくさんの方に
ご覧いただきました!

にいがた ぐるっと ミュージアム!



新潟県内58のミュージアムをぐるっとお得に楽しめる周遊バスポート販売中!今年度から子ども用バスポートは無料&令和6年2月29日(木)まで使えます。(大人用バスポートは1枚1,000円、最初に利用した日から3か月間有効)バスポート対象施設を含めた105施設ではスタンプラリーも開催中です!

料金 **大人用 1,000円 子ども用 無料**

連絡先:にいがたぐるっとミュージアム!事務局(新潟日報社 地域ビジネス部内) Tel.025-385-7432 主催:新潟県 新潟日報社

県立近代美術館等で「親子ふれあいデー」を実施します

県では、親子が文化芸術に触れ合う機会を創出することにより、「子育てに優しい新潟」を実現するため、今年度から県内の美術館等で子ども連れの保護者の観覧料を無料にする「親子ふれあいデー」や子ども向けのワークショップ等のイベントを実施します。県立施設以外の美術館等でも子ども向けのイベント等が実施されます。

1. 県立施設

施設名(市町村)	実施日	実施内容等
県立近代美術館 (長岡市)	①9月24日(日) ②1月14日(日)	中学生以下の子どもの保護者2名まで企画展の観覧料無料 ①「ベルギーと日本」展 ②「白髪一雄」展
県立万代島美術館 (新潟市)	10月29日(日)	親子で楽しむワークショップ 「自分だけのガラスの箸置きをつくろう!」 定員:30名(参加費500円・要観覧券/要事前申し込み)

2. 県立施設以外

施設名(市町村)	実施日	実施内容等
村上市郷土資料館(村上市)	9月16日(土)~9月18日(月)	子ども及び保護者の観覧料無料(中学生以下、保護者2名まで)
国指定重要文化財 渡邊邸(関川村)	10月21日(土)・22日(日)	干し柿づくり体験 参加費 500円(入館料別)
燕市産業史料館(燕市)	開催中~9月18日(月・祝)	特別企画展「クブルムの花嫁のセカイ展 ~おかわり~」
みつけ市民ギャラリー(見附市)	9月2日(土)~10月1日(日)	有料展「渡部佳則写真展 星空放浪」 高校生以下無料
十日町市博物館(十日町市)	12月9日(土)	「子ども博物館」小学生対象の体験教室
胎内市美術館(胎内市)	①9月15日(金)、16日(土) ②10月21日(土)、22日(日)	親子で楽しめるワークショップ ワークショップ参加の親子は観覧料無料 ①ジュエリーデザイン教室 参加費1,000円 ②インテリアモビールづくり 参加費200円

実施内容により、事前申し込み及び参加費が必要な場合があります。詳細は各施設にお問い合わせください。



Culture
Niigata

●発行回数 年4回(6月、8月、11月、2月)
●発行部数 13,000部
●配布先 市町村、公民館、文化施設、大学等

●発行 新潟県 観光文化スポーツ部 文化課
TEL.025-280-5139
Mail.ngt150030@pref.niigata.lg.jp

URAKATA

裏古語

舞台裏から、芸術の新たな魅力を発信!

衣裳 後藤信子

舞台を製作しているのはアーティストだけではない。音楽・文化・芸術をもっと身近に感じてもらうため、ここでは裏方で活躍する人々をご紹介します。

第29回は、10月22日(日)、新潟市北区文化会館ホールで上演予定の、市民劇「もういちど会いたい～星空の約束～」の衣裳を担当する後藤信子さんに「衣裳」の仕事内容について話を聞いた。



福島潟の伝説をベースに 創作された市民劇

新潟市北区と新発田市の間にある福島潟。県内で一番大きな湖で春夏秋冬、美しい景色で私たちを楽しませてくれる場所だ。古くからこの福島潟には不思議な生き物が棲んでいたという伝説がある。それをモチーフにした創作市民劇「もういちど会いたい～星空の約束～」が今年10月22日(日)、新潟市北区文化会館で上演される。

舞台は現代。10年前に母親をコロナ感染症で失った美咲。大学生になった彼女は「もう一度、お母さんに会いたい」という願いを胸に抱きながら、地域の子どもたちと一緒に福島潟の自然を守る活動をしている。そんな美咲の願いをかなえてあげたいと福島潟に棲む妖怪たちが立ち上がって……というストーリーとなっている。

「植物と動物、そして人間と妖怪、すべての命の尊さと環境の大切さを伝える『命』をテーマにしています。他者を大切に思う気持ちが自分の幸せになるんだということが伝わってくる素敵な作品です」と話すのはこの舞台の衣裳を担当する後藤信子さんである。

取材に訪れたのは7月15日(土)の午後。8歳から70代まで総勢35名の市民キャストが揃って、舞台上で立ち稽古を行っている。そのかたわらで後藤さんは一人ひとりのキャストを見つめながら、それぞれが身にまとう衣裳に想像を膨らませていた。

「まだ本番まで3カ月ほどあるので、衣裳製作はまだ途中段階です。妖怪や人魚が登場するファンタジーですが基本的には現代劇なので、主人公の美咲など“人間”として登場する人たちには私たちがふだん着る洋服、もしくは役柄によっては制服を着ていただきます。ただ、妖怪や人魚などの衣裳は私がゼロから作っています。もともとこれまで存在しなかったものを作るのが好きなので今回の一番の楽しみは妖怪たちを作ること。どうやって“人間らしい妖怪”を作ろうかとワクワクしながら作業を進めているところです」

役柄を表現するだけでなく 演者を光り輝かせる衣裳を

後藤さんは、あまり衣裳デッサンを描くことをしない。描いてもそれに頼らず、基本的には頭の中でイメージし、実際にキャストの雰囲気をつかんだ上で、作りながらデザインを決めていくことが多いそうだ。

「こちらが勝手にデザインしたものを演じるキャストに押しつけたくないという思いがありまして。進め方としては最初に台本を読み、演出家の要望を聞いて衣裳のイメージを考えます。キャストの写真を見て材料を準備し、サイズを確認してその役のイメージを表現しながら、どうすれば本人に似合う衣裳になるかを考えながら制作していきます」

衣裳はキャストたちにとって現実から虚構への切り替えスイッチであり“戦闘服”だと後藤さんは考える。

URAKATA

裏話

舞台裏から、芸術の新たな魅力を発信!



「キャストの気持ちを上げる、それが衣裳の役割でもあると思うんです。全員が大きな役ではないですし、必ずしも長いセリフ、良いセリフがもらえるわけでもありません。それでもキャスト全員に『よっしゃ!』とやる気を出して舞台に立ってほしいし、自分の役を楽しんでほしい。『この衣裳があるから頑張ろう』と思ってもらえるような衣裳を提供しようと心がけています」

例えば、今回人魚役を演じるのは年配の女性だが「ディズニープリンセスのラプンツェルの気分で舞台に立ってほしい」という思いをこめて衣裳を作った。「試着してもらったらとても似合っていたのでホッとしました」

妖怪役を演じる子どもたちの中にはセリフがひと言しかない子もいるが、「ひと言のセリフを大事にして衣裳を作ります。セリフを放った瞬間、その子が一番光り輝くようにしたいからです」

“人貝”という役で8歳から12歳の男女の子どもたちに対しては「超かわいくしてあげたくて、お尻とお腹まわりを提灯のように膨らませ、巻き貝みたいな雰囲気衣裳にしました。タイツもそれぞれ色を変えて、あちらこちらに貝をつけています。いずれにしてもこの舞台でしか着られない衣裳というのが私のこだわりです」

粘土を使う人形作家から 舞台衣裳を手がけるように

後藤さんの本業は人形作家だが、その前は臨床検査

技師として働いていたというユニークな経歴を持つ。

「もともと理系科目が好きだったので、病院で臨床検査技師として働いていました。子どもを授かったのをきっかけに専業主婦に。そして育児中にすでに人形作家として活躍していた姉の影響で、創作粘土の世界と出会ったわけです。幼い娘と一緒に粘土で遊んでいるうちに夢中になってしまい、本格的に人形作家としての活動を開始しました」

舞台衣裳を手がけるようになったのは1998年、新潟市内で開催していた個展がきっかけだ。作品を見に来てくれた知人から舞台で使う仮面を作ってくれないかと頼まれたのである。

「それでりゅーとびあ開館記念公演『シャンポーの森で眠る』の舞台監督に紹介され、試作を作ったのが始まりです。ちょうど軽い粘土が市販されるようになった時期でタイミングもよく、舞台で使いやすい仮面を作ることができたんですね。その後、毎年舞台に呼ばれて手伝うようになっていきました。シェイクスピア能楽堂公演やりゅーとびあが主宰する子どもの劇団APRICOTの仮面や小道具、衣裳なども担当するようになったし、最近では舞台美術や衣裳までも制作するようになりました」

後藤さんが何でも作ることができてしまうのは人形作家としての技術と経験があるからだが、どうもそれだけではなさそうだ。

「子どもの頃、母親の洋服を見て覚えましたし、着物教室をやっていたので着付けもできます。自分が親になってか



セリフの少ない子どもたちにとっても

衣裳は本人がその気になるための戦闘服

らは娘がバレエやダンスを習っていたので素敵な舞台や衣裳を見る機会がたくさんあったことも役立っています。それと臨床検査技師として骨格や筋肉など体の構造をひと通り学んだことも役に立っています。これまでのすべての知識と経験を総動員させてできるのが舞台衣裳の仕事です。本当に人生に無駄はないなと実感しています」

舞台衣裳の後進を育成したい

舞台衣裳はふつうの洋服を作るのとは少々異なる。キャストがダンスなど動き回るシーンでは動きやすさが大事になってくる。また、舞台上に立った時、照明があたった時の色合いも重要だ。

「よく衣裳の素材を求めてホームセンターや100円ショップなどへ出かけます。また、素敵だなと思う布を見つけたら購入しておきます。必ず使う時が訪れるので不思議なものですね」

本番では自分が作った衣裳を身にまとったキャストが舞台上で照明を浴びて動き、その姿を観客が見ている。それが後藤さんにとっての至福のひとつだという。

「人形作家として作品を創っても人形は動かない。でも、舞台だとキャストが踊り出したり、セリフを発したりしてくれる。自分が制作した作品に命が吹き込まれた、そんな感動と喜びがありますね」

これからも演者と観客が笑顔になるものを創り続けた

という後藤さん。ただ昨年、大病を経験したことから後進を育てたいという思いもあるし、いつか舞台をプロデュースしてみたいという夢もある。まだまだ後藤さんの活躍は続きそうだ。

<プロフィール>

衣裳

ごとう のぶこ
後藤信子

新潟県生まれ。人形作家(ロマネスク工房主宰)。1998年、りゅーとぴあ開館公演「シャンポーの森で眠る」以降、シェイクスピア能楽堂公演「マクベス」「リア王」「冬物語(海外公演)」「オセロ」「ハムレット」など数多くの舞台に仮面・小道具製作として関わる。2001年からはAPRICOT公演「砂の妖精」の小道具、10年「恋ものがたり」以降の全夏季公演の舞台美術・衣裳を担当。18年りゅーとぴあ開館20周年記念公演「シャンポーの森で眠る」舞台美術・衣裳を担当。県内外の舞台美術プランなどの他に、ダンスコンクールの衣裳、イベントの仮面・道具・衣裳やCMキャラクター制作、舞踊コスチューム制作なども手がける。パフォーマンス集団「華やぎ・ちんどん隊」代表。



公演情報

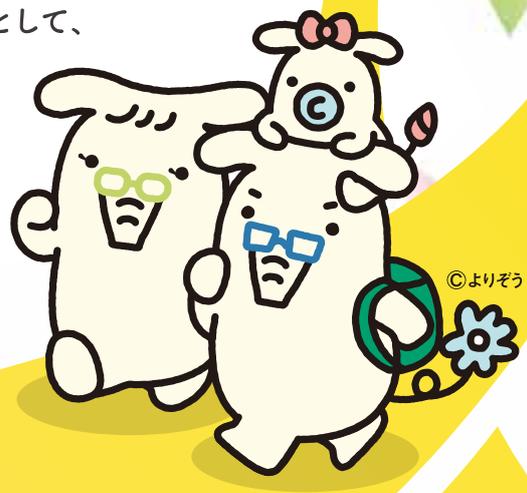
市民劇「もういちど会いたい～星空の約束～」
10/22(日) ①12:30 ②16:30
新潟市北区文化会館 ホール
※詳しくはP6をご覧ください。

「小児がん」の子どもによりそう

定期貯金

JAバンク新潟はサステナビリティ活動の一環として、
当定期貯金の販売総額の0.05%相当額を、
寄付金として「認定NPO法人ハートリンク
ワーキングプロジェクト」に寄付します。

※サステナビリティ活動とは、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向け事業活動を通じて貢献する取組みを言います。
※令和6年1月31日現在の当定期貯金残高の0.05%相当額をJAバンク新潟が寄付します。お客様のご負担はございません。
※個人のお客様のみお預入れいただけます。



取扱期間

令和5年4月3日(月)
▶ 令和6年1月31日(水)

※取扱期間内でも、募集金額(県内合計30億円)に達した翌々営業日をもって募集を終了させていただきます。

寄付金は、ハートリンクワーキングプロジェクトを通じて、小児がん経験者が働きながら社会に通用する能力・知識・技術等を習得し、自立した社会生活を営むための支援活動に役立てられます。

認定NPO法人ハートリンクワーキングプロジェクト
活動内容について詳しくはコチラから

<http://cchlwp.com>



100万円以上
お預け入れていただいた方へ
ゴールドリボン
ピンバッジ
プレゼント

※ご契約時にお渡しいたします。
※写真はイメージです。

